

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

日経新聞掲載名：NS興債イ有／NS興債イ無

2024年8月1日から2025年7月31日まで

第 4 期 決算日：2025年7月31日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当期の状況

	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
基準価額(期末)	6,971円	11,358円
純資産総額(期末)	318百万円	10,319百万円
騰落率(当期)	+0.0%	+3.2%
分配金合計(当期)	0円	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

 三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

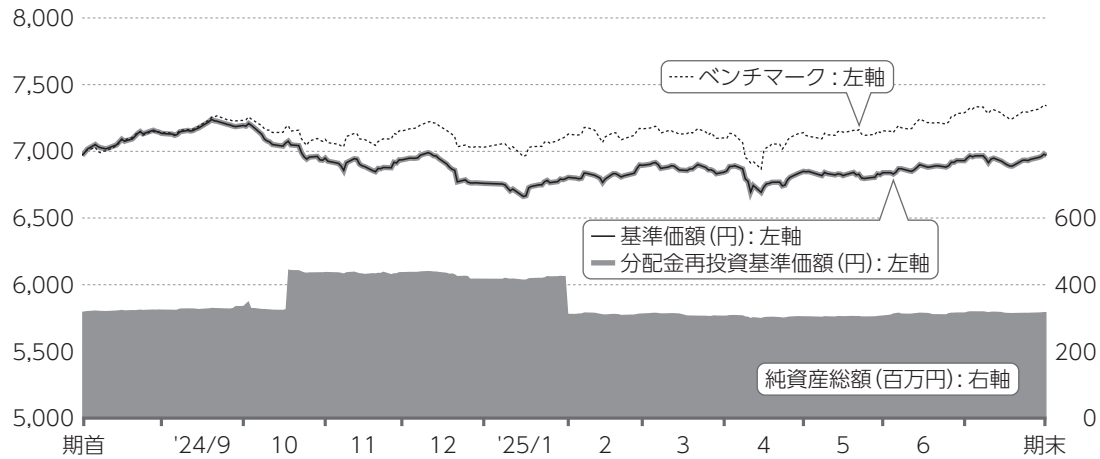
【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

基準価額等の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	6,970円
期末	6,971円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+0.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

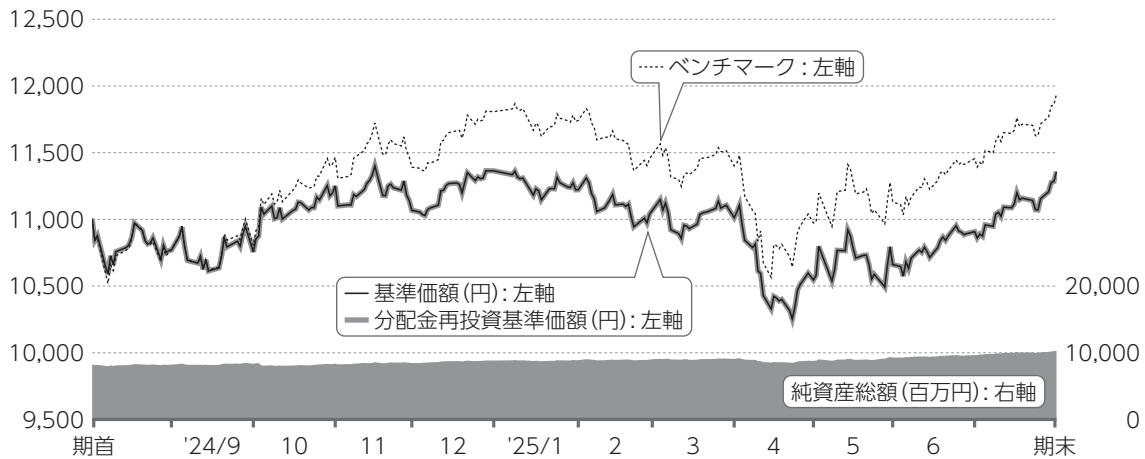
分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)です。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表する指数(JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス)を基に委託会社が換算したものです。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。委託会社は同インデックスの使用許諾を得て使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なく同インデックスを複製・使用・頒布することは禁じられています。また、J.P. Morganは当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。Copyright © 2021, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	11,005円
期末	11,358円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+3.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、J.P. Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)です。
 ※J.P. Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)は、J.P. Morgan・セキュリティーズ・エルエルシーが公表する指数(J.P. Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス)を基に委託会社が換算したものです。J.P. Morgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。委託会社は同インデックスの使用許諾を得て使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なく同インデックスを複製・使用・頒布することは禁じられています。また、J.P. Morganは当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。Copyright © 2021, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

基準価額の主な変動要因(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、米ドル建ての新興国の国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

上昇要因

- 保有している米ドル建て新興国債の価格が上昇したこと
- 保有している米ドル建て新興国債からのクーポン収入

下落要因

- 為替ヘッジに伴うコスト

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、米ドル建ての新興国の国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 保有している米ドル建て新興国債の価格が上昇したこと
- 保有している米ドル建て新興国債からのクーポン収入

1万口当たりの費用明細(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	14円	0.198%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は6,917円です。
(投信会社)	(10)	(0.143)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(2)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	15	0.218	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

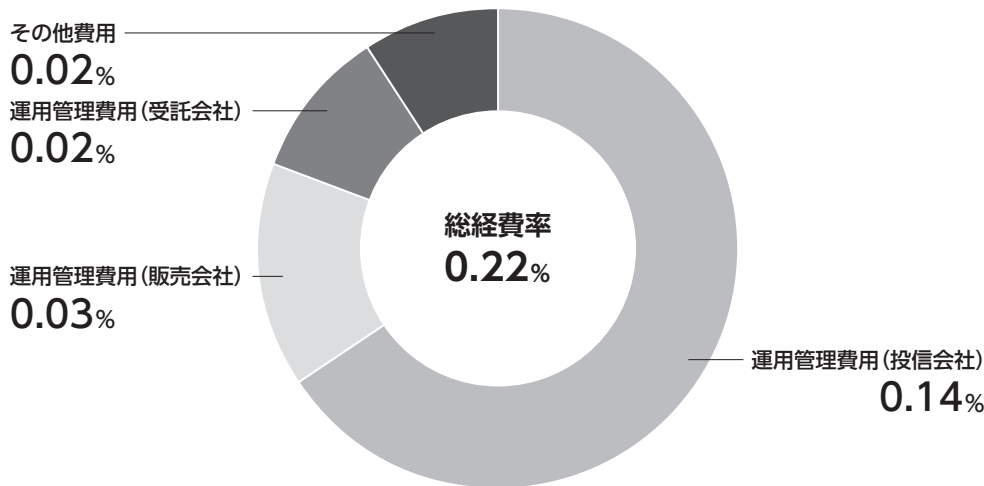
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.22%です。

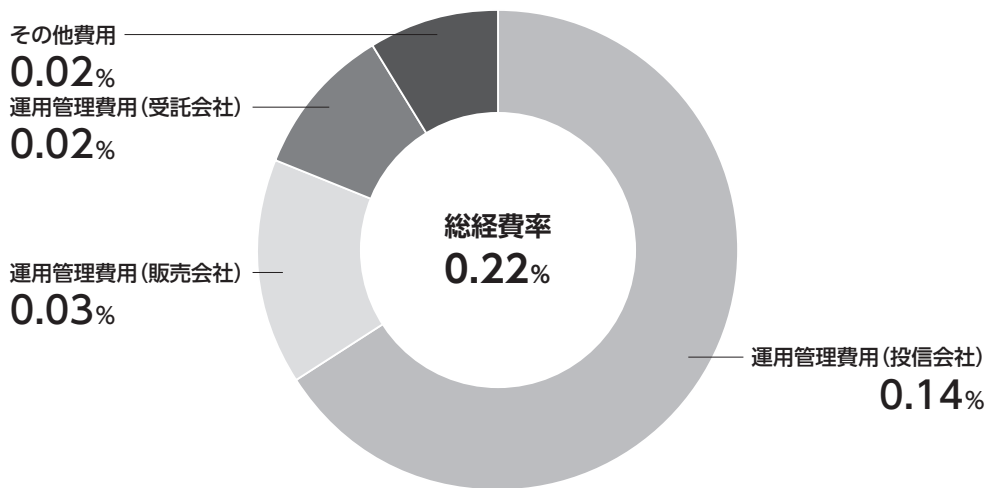
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	22円	0.198%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は10,967円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.143)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(-)	(-)	
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(-)	(-)	
(投 資 信 託 証 券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(-)	(-)	
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投 資 信 託 証 券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.019	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.014)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	24	0.216	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
 ※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
 ※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
 ※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含まず。
 ※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。
 ※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.22%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年7月31日から2025年7月31日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



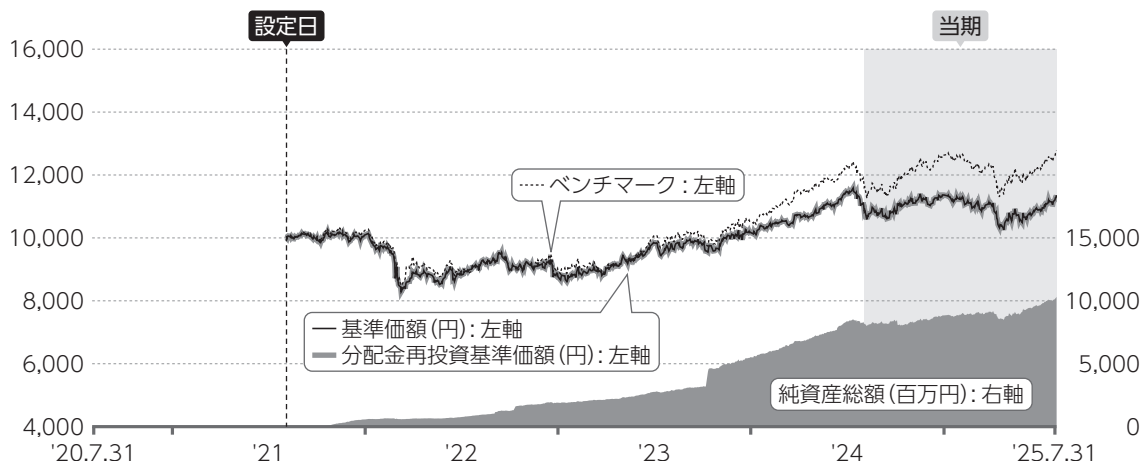
※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日	2024.7.31 決算日	2025.7.31 決算日
基準価額	(円)	10,000	7,390	7,042	6,970	6,971
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	-26.1	-4.7	-1.0	0.0
ベンチマーク騰落率	(%)	-	-27.1	-2.0	2.8	5.3
純資産総額	(百万円)	500	499	445	319	318

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月3日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2021.8.3 設定日	2022.8.1 決算日	2023.7.31 決算日	2024.7.31 決算日	2025.7.31 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,071	9,685	11,005	11,358
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	-9.3	6.8	13.6	3.2
ベンチマーク騰落率	(%)	-	-9.4	9.9	18.3	8.5
純資産総額	(百万円)	1	909	2,841	8,242	10,319

投資環境について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

米ドル建て新興国債券市場の利回りは低下(価格は上昇)しました。為替市場では米ドルが対円で小幅に下落しました。

米ドル建て新興国債券市場

米国債利回りは上昇しました。期初は景気悪化懸念とともに利下げ開始が意識され、利回りは低下しました。期の半ばにかけては、トランプ新政権の政策への警戒や、市場予想を上回る堅調な経済指標などを背景に、利回りは上昇しました。期の後半は、関税政策による景気悪化やインフレ加速への懸念などを背景に、利回りはもみ合いで推移しました。

米ドル建て新興国債スプレッド(米国債利回りに対する上乗せ利回り)は全体としては縮小しました。期の前半は、利下げ開始がリスクセンチメント(リスクに対する投資家心理)の下支えとなり、スプレッドは縮小しました。一部の新興国において政治経済状況が大きく好感されたことなどもスプレッド縮小要因となりました。期の後半は、関税政策への懸念からスプレッドは一時拡大したも

のの、部分的な関税延期など市場への配慮や、通商協議における進展も見られたことなどが好感され、再びスプレッドは縮小しました。結果として、スプレッドの縮小を主因に、米ドル建て新興国の債券利回りは低下しました。

為替市場

米ドルは対円で小幅に下落しました。

期初は米国の利下げ開始が意識され、米ドル・円相場は下落しました。期の半ばにかけては、トランプ新政権への思惑から米ドル・円は上昇も、その後は、米国の関税政策への懸念などを背景に、米ドル・円は下落しました。期末にかけては、日本の政治不安定化や財政悪化への懸念が高まったことなどを受けて、米ドル・円は再び上昇しました。

ポートフォリオについて(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

期を通じて主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いました。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

期を通じて主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

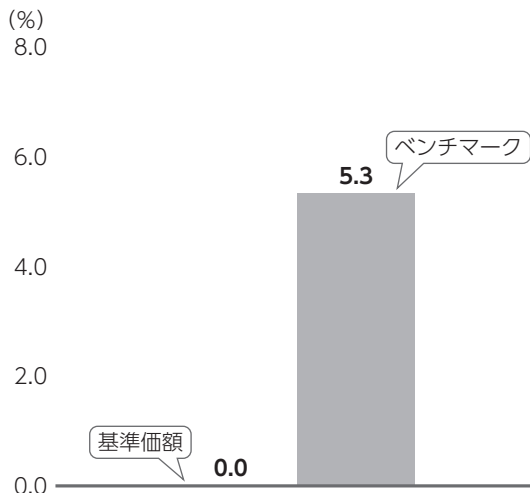
米ドル建ての新興国債に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資しました。

ベンチマークとの差異について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)をベンチマークとしています。記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

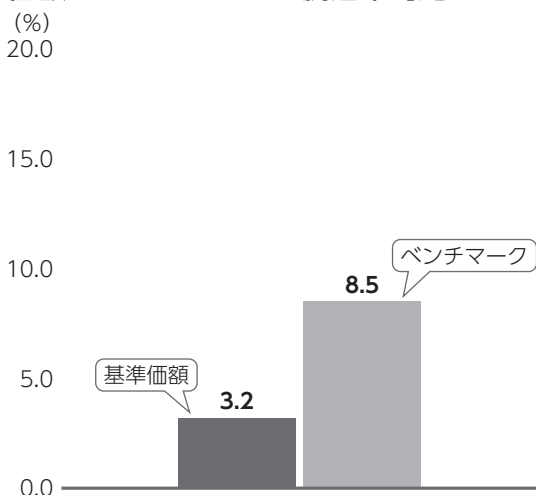
基準価額の騰落率は+0.0%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率+5.3%を5.3%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 流動性リスクが高くポートフォリオで非保有としている一部の低格付銘柄の価格が、他の銘柄に比べて大きく上昇したため

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドは、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)をベンチマークとしています。記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+3.2%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率+8.5%を5.3%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 流動性リスクが高くポートフォリオで非保有としている一部の低格付銘柄の価格が、他の銘柄に比べて大きく上昇したため

分配金について(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第4期	
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	(0.00%)	(0.00%)
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	1,288	2,037

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、各ファンドとも見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

引き続き主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れます。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行います。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

引き続き主要投資対象である「米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れます。

実質組入外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いません。

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド

米国では、関税政策の影響により景気の減速が見込まれ、F R B(米連邦準備制度理事会)は利下げを再開すると予想します。ただし、財政赤字拡大や米国資産への投資需要の減少が見込まれるこ

とから、期間プレミアムは高止まると考えます。そのため、国債利回りは横ばいの展開を予想します。

米ドル建て新興国債の спреッドについては、引き続き当面はトランプ政権の政策を受けた市場のセンチメント動向に影響を受ける局面が想定されます。中期的には国債金利の変動が落ち着くとともに、spreッドは安定した推移が続くと予想します。新興国は国によって経済動向や政治状況に差が出ており、米トランプ政権の政策による影響も国によって違いが出ると想定されることから、選別色が強い展開を想定します。

米ドル/円は、もみ合いの展開を予想します。F R Bはいずれ利下げを再開すると考えます。一方、日銀は利上げ継続姿勢であるものの、参議院選挙での野党勢力の拡大により日本の財政規律に低下が見込まれ、米ドル/円はもみ合いの展開を予想します。

上記見通しのもと、引き続き、J P モルガン・エマーGING・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)に近似させるよう運用を行います。ただし、運用の効率性を勘案し、流動性の高い国、銘柄を中心に投資します。

3 お知らせ

約款変更について

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり) 日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながる事が期待されます。

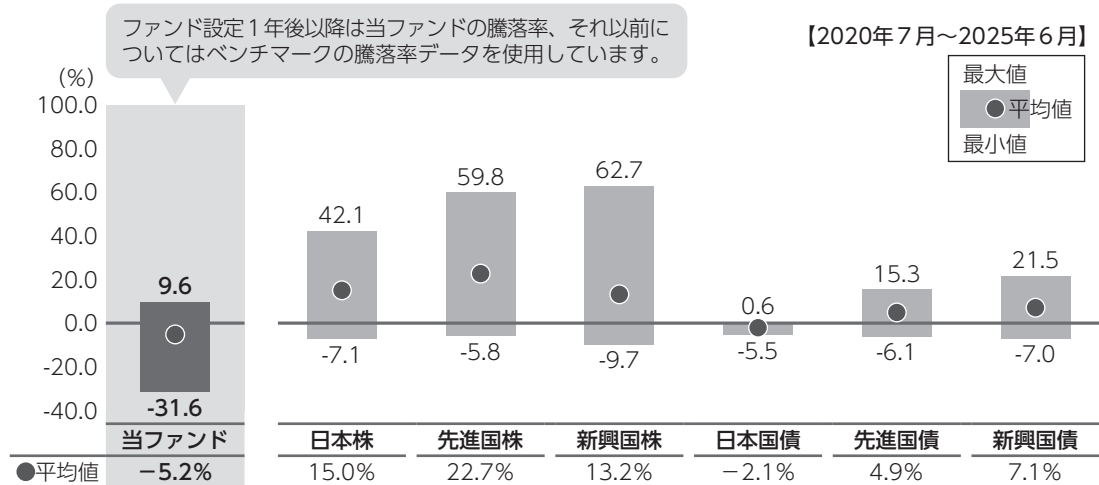
今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
信託期間	無期限(設定日：2021年8月3日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド 新興国の公社債等
当ファンドの運用方法	日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり) ■主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円ヘッジ換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし) ■主として米ドル建ての新興国の公社債に投資し、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド ■株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年1回(原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

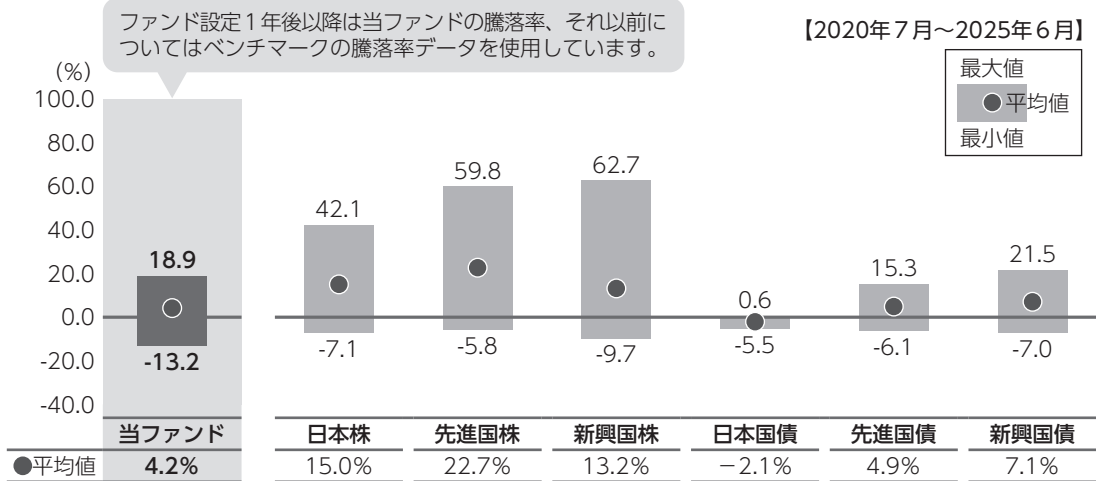
各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2025年7月31日)

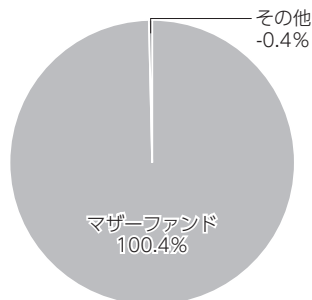
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)

組入れファンド等

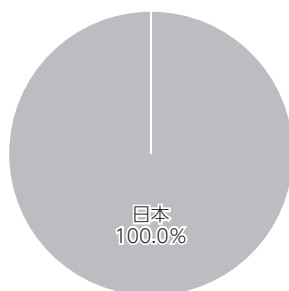
銘柄名	組入比率
米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド	100.4%
コールローン等、その他	-0.4%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

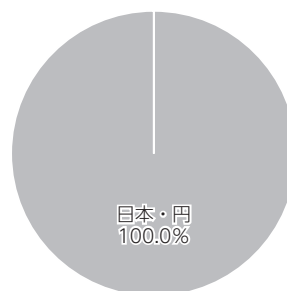
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
 ※実質外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

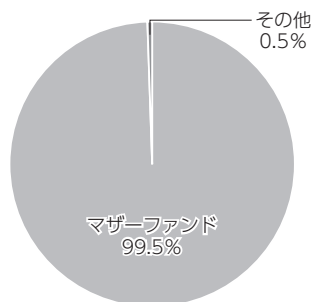
日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)

組入れファンド等

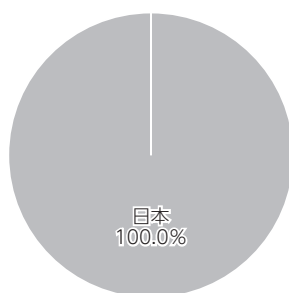
銘柄名	組入比率
米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド	99.5%
コールローン等、その他	0.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

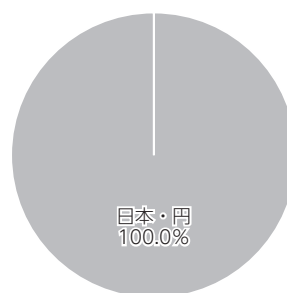
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第4期末 2025年7月31日	
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
純資産総額 (円)	318,023,035	10,319,636,766
受益権総口数 (口)	456,205,682	9,085,472,202
1万口当たり基準価額 (円)	6,971	11,358

※日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジあり)の当期における、追加設定元本額は285,313,974円、解約元本額は286,953,568円です。
 ※日興FWS・新興国債インデックス(為替ヘッジなし)の当期における、追加設定元本額は3,096,314,100円、解約元本額は1,500,276,719円です。

組入上位ファンドの概要

米ドル建て新興国債インデックス・マザーファンド(2024年8月1日から2025年7月31日まで)

基準価額の推移



組入上位銘柄

(基準日：2025年7月31日)

	銘柄名	組入比率
1	REPUBLIC OF ARGENTINA FL 07/09/35	3.2%
2	REPUBLIC OF ARGENTINA FL 07/09/30	3.0%
3	REPUBLIC OF POLAND 5.125 09/18/34	2.6%
4	HUNGARY 6.25 09/22/32	2.2%
5	DOMINICAN REPUBLIC 6 02/22/33	2.1%
6	REPUBLIC OF TURKEY 9.375 01/19/33	1.9%
7	HUNGARY 5.5 03/26/36	1.9%
8	REPUBLIC OF TURKEY 9.875 01/15/28	1.9%
9	OMAN GOV INTERNTL BOND 6.25 01/25/31	1.8%
10	REPUBLIC OF POLAND 5.5 03/18/54	1.8%
全銘柄数		119銘柄

1万口当たりの費用明細

(単位：円)

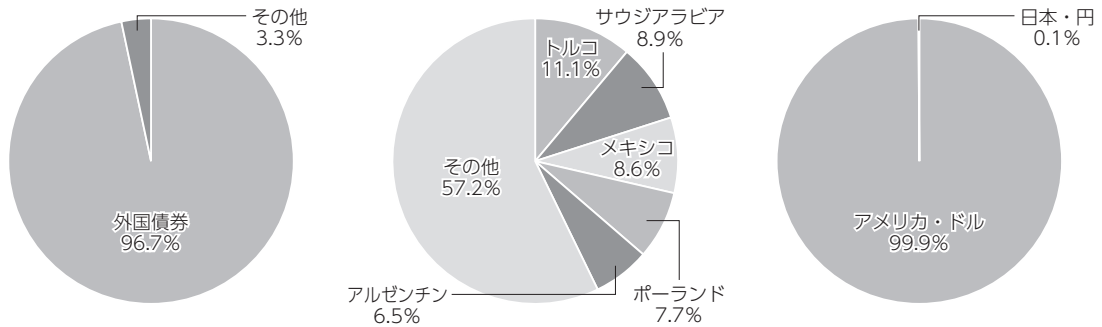
項目	内訳	金額	内訳
その他費用	(保管費用)	2	(2)
	(その他)		(0)
合計		2	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年7月31日現在です。